

## 巻 頭 言

### 地域医療構想と自治体病院

病院長 和 泉 裕 一

名寄市立病院医誌第23巻第1号が完成しました。170ページを超える内容豊富な医誌になっています。毎回お話ししていますが、本誌は当院の現在の activity を示すばかりでなく、後世に残すべき当院の歩みを記す資料でもあります。本誌に投稿してくださった皆様、編集委員の皆様には心からお礼を申し上げる次第です。また今回は、名寄東病院院長の佐古和廣先生（名寄市立総合病院名誉院長）による寄稿“名寄市立病院の75年の歴史と将来”が掲載されています。とても貴重な資料と内容であるとともに、今後の当院のあり方について、重要な示唆をいただいております。先輩たちが残してくださった有形無形の貴重な財産をもとに、今後もこの地方の中核病院として発展させていかなければならないことを肝に命じております。

さて今年度は、地域医療構想の策定、新公立病院改革プランの策定、地方公務員法改正による人事評価制度の構築など、多くの課題が積まれています。2025年問題に向け、この地方における、よりよい医療提供体制を構築するとともに、公立病院の経営面においても改善が強く求められています。超高齢化時代を迎え医療費が約40兆円に達する状況下、進みつつある様々な改革と法整備は、公立病院、自治体病院へ風当たりの厳しさと国の本気モードをひしひしと感ずるところです。当院は、本年の8月1日付で救命救急センターの指定を受け、北北海道の救急医療ならびに高度急性期／急性期医療において、これまで以上に重要な位置付けとなりました。今後も職員一同、地域医療の推進に貢献するため、日々努力してゆきたいと思っております。

(2015年8月26日)